

第 19 回 CPD WG 委員会議事録

日時：平成 21 年 11 月 4 日（水） 15:00～17:00

場所：日本工学会事務所（港区芝 5-26-20 建築会館 6 階）

出席者（順不同、敬称略）：

主査 関田 真澄（(社)日本冷凍空調学会 事務局長）
委員 片山 功三（(社)土木学会 技術推進機構長、土木分野）
木村 軍司（首都大学東京 名誉教授、電気分野）
黒澤 兵夫（TAKE 国際技術士事務所、日本技術士会）
児玉 公信（(株)情報システム総研 取締役副社長、情報分野）
武田 裕久（(株)電業社機械製作所 上席執行役員、機械部門）
山本 誠（東京理科大学工学部機械工学科 教授、機械分野）
事務局 柳川 隆之

配布資料：

CPD09-19-1：第 18 回 CPD WG 会合議事録（案）

CPD09-19-2：CPD 講演会終了報告書

CPD09-19-3：ガイドライン最終案（講演会資料より）

CPD09-19-4：児玉委員からのコメント

CPD09-19-5：CPD WG 委員名簿（平成 21 年 11 月版）

CPD09-19-6：桑原協議会長からのガイドラインに対するコメント

議 事：

議事に先立ち、今回から日本技術士会からの委員として参加する黒澤委員の紹介が行われた。

1. 前回議事録確認

9 月 9 日に開催された第 18 回 WG 会合の議事録案が、作成者の片山委員から説明され、修正なく確認された。

2. CPD 講演会終了報告

10 月 5 日に開催された CPD 講演会の開催結果が事務局から報告された。

3. ガイドライン最終案の確認

前項の講演会で提示したガイドライン最終案に対して寄せられた下記の 2 種類のコメントについて審議を行い、結論として、添付の文書に示すと通りの修正を加えることにした。

1) 児玉委員からのコメント

電気電子・情報系 CPD 協議会で審議した結果として、「定義 (3)CPD プログラム」、および「CPD 記録の取扱い (3)受講証明書による代替」の 2 箇所に対する修正提案が児玉委員から行われた。審議の結果、この提案を承認した。

2) 桑原協議会長からのコメント

桑原協議会会長から提出された 5 件のコメントの取り扱いについて審議を行った。各学協会が連携して取り組んだ方がよいプログラムの具体例としては、技術倫理やプロジェクトマネジメントが挙げられた。人間力については、CPD の範疇に入るのかど

うかという疑問が出された。

資格制度との関係付けについては、資格維持の条件の一つに CPD を入れることはできるが、CPD の側から資格を作ることは難しいなどの点があり、継続審議とした。各学協会ではやりにくく日本工学会がやるのに適切なプログラムについては、このガイドラインは日本工学会の会員学協会を対象としており、日本工学会が行うことに言及するのは適切かどうか、日本工学会は自身で CPD の実施ができないのではないか、などの意見が出され、しばらく保留とすることにした。

ガイドラインは発行前に日本工学会のウェブサイトに掲載し会員の意見（パブコメ）を求めることとし、年度内に正式に発行することの目指すにした。スケジュールは次の通りとする。

- (1) 本日の修正点を盛り込んだ修正版を兎玉委員が作成して各委員に送り（済み）、各委員は 11 月 11 日までにそれに対する意見を事務局宛に提出する。
- (2) 11 月 12 日に関田主査が委員の意見を反映した修正版を作る。
- (3) 11 月 16 日までに事務局はこれを日本工学会のウェブサイトに掲載し、12 月 18 日までに会員の意見を求める。ウェブサイトに掲載したら、事務局から会員に対しメールで意見募集を伝える。
- (4) 提出された意見を WG 委員に送り、1 月 14 日（木）15 時から WG 会合を開催して意見の扱いを決定する。

次回は 1 月 14 日（木）15:00-17:00 に日本工学会事務所で開催する。

以上